

終末期看護研究プロジェクト H19.3 提出

看護の役割機能は、疾病の予防、健康の維持増進や回復への関わりだけでなく、その人らしい終末期を過ごし、安らかな死をむかえることへの関わりも大変重要です。生と死は、いつも表裏一体といわれておりながら、死についてタブー視される現状があります。死について考えることは、自分らしい死を迎えること、それは自分らしく生きることにつながっていると考えます。本プロジェクトは、死を迎える人やその人に関わる家族や友人、看護職者・介護職者を対象に、幅広く関心をもち看護学の立場からケアやシステムのあり方を考えようとしています。

本プロジェクトは、平成 14 年に取り組みされた 21 世紀 COE プログラムの構想から生まれたセンター（当時、看護ヒューマンアプローチセンター）の一つの事業として、科学研究費等の補助を得て行われていた終末期ケアに関する研究活動や地域支援活動を統合し誕生しました。

本プロジェクトのこれまでの活動、メンバーは、以下のとおりです。

年度	メンバー	主な活動内容
平成14年度	池田紀子、奥野茂代、竹内幸江、岩崎朗子	<ol style="list-style-type: none">1. 配偶者を亡くした高齢者のお話し合いの会 年間 10 回の半構成的エンカウターの実施。2. 介護施設における看護職者の終末期ケア能力向上に関する支援—介護施設や在宅において高齢者の終末期ケアに携わる看護職者・介護職者への支援について、介護施設の終末期ケアの現状・ニーズ調査の実施（科研費 14・16 年度交付）3. 子どもの終末期ケア—命について子どもたちに考えてもらうため、人形劇を使用した教育プログラムの検討をすすめ、小学生を対象に実施。
平成15年度	池田紀子、奥野茂代、竹内幸江、岩崎朗子	<ol style="list-style-type: none">1. 配偶者を亡くした高齢者のお話し合いの会 年間 10 回の半構成的エンカウターの実施。2. 介護施設における看護職者の終末期ケア能力向上に関する支援—平成 14 年度に実施した介護施設の終末期ケアの現状・ニーズ調査の実施をもとに、国内の講師を招き研修会や事例検討会の開催3. 子どもの終末期ケア—命について子どもたちに考えてもらうため、人形劇を使用した教育プログラムの検討をすすめ、小学生を対象に実施。

平成16年度	池田紀子、奥野茂代、竹内幸江、岩崎朗子、千葉真弓、太田規子、曾根千賀子、新實夕香理、小林理恵子、村松由紀	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配偶者を亡くした高齢者のお話し合いの会 年間 10 回の半構成的エンカウンターの実施。 2. 介護施設における看護職者の終末期ケア能力向上に関する支援—介護施設や在宅において高齢者の終末期ケアに携わる看護職者・介護職者への支援について、平成 14 年度から介護施設の終末期ケアの現状・ニーズ調査の実施、国内やオーストラリアから講師を招き研修会や事例検討会の開催 3. 子どもの終末期ケア—命について子どもたちに考えてもらうため、人形劇を使用した教育プログラムの検討をすすめ、小学生を対象に実施。
平成17年度	奥野茂代、岩崎朗子、奥野茂代、竹内幸江、千葉真弓、太田規子、曾根千賀子、村松由紀	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配偶者を亡くした高齢者のお話し合いの会 年間 10 回の半構成的エンカウンターの実施。 2. 認知症高齢者の終末期ケアの向上をめざした看護職者の臨床能力発展に関する支援—介護施設や在宅において認知症高齢者の終末期ケアに携わる看護職者・介護職者の臨床能力発展を目指した支援について、介護施設の終末期ケアの現状・ニーズ調査の実施、分析（科研費 17-19 年度交付） 3. 子どもの終末期ケア—命について子どもたちに考えてもらうため、人形劇を使用した教育プログラムの検討をすすめ、小学生を対象に実施。
平成18年度	奥野茂代、千葉真弓、太田規子、楠本祐子、曾根千賀子、早出春美	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症高齢者の終末期ケアの向上をめざした看護職者の臨床能力発展に関する支援—平成17年度に実施した介護施設の終末期ケアの現状・ニーズ調査にもとづき、10 回の研修会開催（18人修了）。また終末期ケアのガイドラインを作成。

平成 19 年度は、認知症高齢者の終末期ケアの向上をめざし実施した研修参加者の施設訪問を行い、研修のフォローと評価を実施する予定です。

今後の課題としては、平成 18 年度に取りやめた「配偶者を亡くした高齢者のお話し合いの会」の再会の検討です。地域の保健師からは、数件の継続の要望がありました。また本プロジェクトでは、介護施設の看護職者とのネットワークづくりが実現したが、医療施設の看護職者から要望がきかれているものの終末期ケアに関するネットワーク作りが実現できておらず、検討が課題です。